

新スポ協第121号
令和2年6月2日

国体実施競技団体事務局長 様
国体実施競技団体強化総括責任者 様

公益財団法人新潟県スポーツ協会
事務局長 細貝 和司

部活動の再開及び実施上の留意事項の取扱いについて（通知）

部活動の再開及び実施上の留意事項については、別紙のとおり県保健体育課長から県立学校長に対し通知されたところですが、競技水準向上対策事業を再開するにあっては、これらを参考として実施するようお願いいたします。

なお、部活動は再開されましたが、児童・生徒の競技水準向上対策事業への参加に際しては、所属学校長並びに保護者などの同意を得た上で無理のない活動から再開するとともに、県外での合宿・練習会については当面自粛してください。

競技スポーツ課長 木村 TEL 025-287-8600 FAX 025-287-8601 E-mail kimura@niigata-sports.or.jp

県立学校長 様

保健体育課長

部活動の再開及び実施上の留意事項について（通知）

（令和 2 年 5 月 27 日時点）

このことについて、令和 2 年 6 月 8 日（月）から部活動を再開することとします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び、臨時休業期間の長期化により生徒の体力低下等への配慮が必要であることから、当面は下記のとおり対応するとともに、別紙留意事項を遵守し、適切に実施願います。

記

○ 当面の対応

期間	留意点等
活動準備期間 （～6月7日）	<ul style="list-style-type: none">・授業を中心とした学校生活を安定させることを最優先し、部活動を休止する。・この期間で、顧問は生徒の体調等を把握し、感染症対策を含めた再開後の活動計画の作成等の準備を行うこと。
通常実施への 段階的な移行 （6月8日～）	<ul style="list-style-type: none">・作成した活動計画に基づき、生徒の状況を確認しながら、徐々に活動日数、活動時間等を増やす。特に、練習再開後 1 週間程度は、怪我の防止の観点から、軽負荷で短時間の活動とするように配慮すること。・当分の間、対外試合、施設訪問、イベントへの参加、宿泊を伴う合宿、遠征等は、感染拡大防止の観点から不可とする。・活動は「新潟県部活動の在り方に係る方針」に示す基準の範囲内で行うこと。

《添付文書》

- 1 別紙「部活動実施上の留意事項について（令和 2 年 5 月 27 日時点）」
- 2 別添「部活動別の留意事項と対応例」

部活動実施上の留意事項について（令和2年5月27日時点）

新型コロナウイルスへの感染防止及び、長期間にわたる臨時休業により生徒の体力が低下していること等に配慮するため、部活動を行う際には、次の点に留意すること。

- あらゆる活動場面において、密閉空間・密集場所・密接場面を、それぞれ避けること。
- 検温など健康観察を十分に行い、発熱等の風邪の症状がある生徒、部活動顧問や部活動指導員等は活動に参加しないこと。
- 部活動の休止期間が長かったことを踏まえ、部活動顧問等は生徒の健康状態等を適切に把握し、活動内容（活動日数、活動時間、練習内容、熱中症対策等）を適切に決定すること。特に、運動部活動については、ケガ等を防止するため、スポーツ医・科学の観点を踏まえ、計画的、段階的に、軽負荷の活動から通常の活動への移行を行うこと。
- 練習においては、感染リスクの低い活動から順次再開すること。
- 当面の間、通常の活動場所での活動に限定することとし、対外試合、施設訪問、各種イベントへの参加、宿泊を伴う合宿、遠征等は、感染拡大防止の観点から不可とする。
- 活動への参加については、生徒本人及び保護者の意向を尊重し、参加を強制しないこと。
- その他、活動については「新潟県部活動の在り方に係る方針」を遵守することとする。
- 以下の【感染拡大防止対策について】を守れないときは、活動を見合わせる。

【感染拡大防止対策について】

- ◆朝の検温、手洗い、手指の消毒、咳エチケット、うがいの実施などの感染拡大防止策を、生徒に十分に指導すること。
- ◆密集する活動や、近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動は行わないこと。
- ◆活動場面における隣の生徒との間隔は、原則として概ね2mを目安とする。
- ◆顧問は指導中、マスクを着用し、指示を出す際は、生徒と2m程度離れて行うこと。
- ◆活動中は、こまめに手洗いや手指消毒を行うこと。
- ◆生徒の活動に際しては、当面の間、過度に大きな声を出すことを控えさせること。
- ◆狭い空間や密閉状態での歌唱、楽器演奏、演劇練習等は避けること。
- ◆部室や更衣室において密閉・密集・密接が発生しやすいことを踏まえた指導を行うこと。
- ◆活動場所や更衣室については、使用後に十分に清掃を行うなど環境衛生を良好に保つこと。
- ◆具体的な取組については、以下を参考にすること。
 - ・屋内で活動する場合は、部単位で活動日や活動時間を分散させるなどして、同時に活動する人数を減らす工夫をする。また、活動場所はこまめに換気する。
 - ・更衣室や部室は、一度に多数の生徒が着替え等を行わないよう交代で入室するとともに、長時間滞在しないようにする。また、必要に応じて顧問が入退室について指導する。
 - ・器具やボール等を使用する活動においては、器具・ボール・楽器等の消毒等、衛生を保つとともに、練習前・休憩時・練習後などに、十分な手洗いや手指消毒を行う。
 - ・ドアノブ、手すり、トイレ等の共用部分で、手で触るところは、アルコール、洗剤等でこまめに消毒、拭き取り清掃を行う。
 - ・汗を拭くタオル、飲料のボトルやコップ、ホイッスルなどは共用しない。

→部活動別の留意事項と対応例については、別添を参照すること

別添 部活動別の留意事項と対応例

【主に屋外で行う部活動】

競技名	練習の特性に応じた留意事項	対応例	共通の留意事項
陸上競技・駅伝	2m程度の距離の確保	個別のウォーミングアップを実施する。集団走をおこなわない。練習待ちの列への配慮。等	<p>【活動前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆指導者は、生徒の健康観察を行い、体調の優れない生徒は参加させない。 ◆更衣室、部室は時間差で使用するなど、3密を避ける。 <p>【活動中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆集団でのランニング、動きづくり等は避ける。 ◆ペアでの準備運動、補強運動等は避ける。 ◆大きな声でのかけ声、応援等は避ける。 ◆指導者はマスクを着用し、生徒と2m程度の距離をとって指導する。 ◆練習後は、複数人が使用する用具、ボール等を必ず消毒する。 ◆水分補給のためのボトルや汗を拭くためのタオル等は共用しない。 ◆手洗いや手指消毒を徹底する。 ◆互いに接近したミーティング等を避ける。 <p>【活動後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆練習終了後は更衣を済ませ、丁寧な手洗いまたは手指消毒の後、速やかに帰宅する。 ◆更衣室、部室は時間差で使用するなど、3密を避ける。顧問は必要に応じて、下校まで指導する。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆活動場所、更衣室、部室、トイレ、水飲み場等の衛生管理を徹底する。
	密集の回避	ゴール付近におけるマネージャーの配置の工夫。ゴール後の速やかな移動。等	
水泳	2m程度の距離の確保	特に、更衣室での3密状態が発生しないよう配慮。プールサイドでの密接場面での会話を控える。等	
サッカー	2m程度の距離の確保	集団でのウォーミングアップを行う際には、互いの距離を開ける。等	
	接触の回避	接触を伴う攻防の練習は当面の間、行わない。等	
野球・ソフトボール	2m程度の距離の確保	集団でのウォーミングアップを行う際には、互いの距離を開ける。等	
	接触の回避	塁に走者を置いての牽制等の練習を避ける。クロスプレーとなる状況を避ける。等	
	密接の回避	ミーティング、意見交換等において、近距離での会話を避ける。等	
ラグビー	2m程度の距離の確保	集団でのウォーミングアップを行う際には、互いの距離を開ける。等	
	接触の回避	スクラムやタックルなど、身体接触を伴う練習は当面の間、行わない。等	
テニス・ソフトテニス	2m程度の距離の確保	コート1面に入る人数を制限する。等	
	接触の回避	ゲーム形式でのダブルス練習は行わない。握手やハイタッチ等は行わない。等	
ホッケー	2m程度の距離の確保	集団でのウォーミングアップを行う際には、互いの距離を開ける。等	
	接触の回避	ゲーム形式の練習等、身体接触を伴う練習は当面の間、行わない。等	
	密接の回避	対人で、至近距離での向かい合っの練習は当面の間、行わない。等	
自転車競技	2m程度の距離の確保	集団での走行は行わない。室内での練習は十分に距離を開ける。等	
アーチェリー	2m程度の距離の確保	行射、待機、回収時に配慮する。等	
カヌー・ボート	2m程度の距離の確保	十分な間隔がとれない場合、2人乗り以上の練習は行わない。等	
登山	2m程度の距離の確保	当面の間、登山活動、テントでの宿泊は行わない。野営技術練習の際に配慮する。等	
スキー	2m程度の距離の確保	夏季練習における集団走は当面の間、行わない。等	

【主に屋内で行う部活動】

競技名	練習の特性に応じた留意事項	対応例	共通の留意事項
バスケットボール ハンドボール	2m程度の距離の確保	1つのゴールで同時にシュート練習等を行う人数を制限する。マイボールを使用して練習する。等	<p>【活動前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆活動場所の換気を十分に行う。 ◆指導者は、生徒の健康観察を行い、体調の優れない生徒は参加させない。 ◆更衣室、部室は時間差で使用するなど、3密を避ける。 <p>【活動中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆活動場所の換気を十分に行う。 ◆集団でのランニング、動きづくり等は避ける。 ◆ペアでの準備運動、補強運動等は避ける。 ◆大きな声でのかけ声、応援等は避ける。 ◆指導者はマスクを着用し、生徒と2m程度の距離をとって指導する。 ◆練習後は、複数人が使用する用具、ボール、楽器等を必ず消毒する。 ◆水分補給のためのボトルや汗を拭くためのタオル等は共用しない。 ◆手洗いや手指消毒を徹底する。 ◆互いに接近したミーティング等を避ける。 <p>【活動後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆練習終了後は更衣を済ませ、丁寧な手洗いまたは手指消毒の後、速やかに帰宅する。 ◆更衣室、部室は時間差で使用するなど、3密を避ける。顧問は必要に応じて、下校まで指導する。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆部単位で活動日や活動時間を分散させるなどして、同じ空間で同時に活動を行う人数を減らす工夫をする。 ◆活動場所、更衣室、部室、トイレ、水飲み場等の衛生管理を徹底する。
	接触の回避	身体接触を伴う練習は当面の間、行わない。等	
	密接の回避	対人の、至近距離で向かい合っただけの練習は当面の間、行わない。等	
	ボール、用具等の衛生管理	マイボールを使用して練習する。等	
バレーボール	2m程度の距離の確保	コート内で一度に練習する人数を制限する。等	
	接触の回避	ゲーム形式での練習等、身体接触を伴う練習は当面の間、行わない。ハイタッチ等は行わない。等	
バドミントン	2m程度の距離の確保	コート1面に入る人数を制限する。等	
	接触の回避	ゲーム形式でのダブルス練習は行わない。握手やハイタッチ等を行わない。等	
	ボール、用具等の衛生管理	練習後は、シャトルを消毒する。等	
卓球	2m程度の距離の確保	1台の卓球台に入る人数を制限する。等	
	接触の回避	ゲーム形式でのダブルス練習は行わない。握手やハイタッチ等を行わない。等	
	ボール、用具等の衛生管理	練習後は、ボールを消毒する。等	
体操競技・新体操・ダンス	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
	接触の回避	補助を必要とする練習は避ける。ペア、団体での演技では間隔を開ける。等	
柔道・剣道・なぎなた・相撲 レスリング・空手道 少林寺拳法	2m程度の距離の確保	一度に練習する人数を制限する。「形」や「演舞」の練習では通常より間隔を開ける。等	
	接触の回避	対人で組み合うまたは当たる練習は当面の間、行わない。ダミー人形やゴムチューブ等での練習を工夫する。等	
	密接の回避	対人で向かい合っただけ、大きな声を出さず練習は当面の間、行わない。	
フェンシング	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
ボクシング	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
	接触の回避	スパーリング等、身体接触がある練習は当面の間、行わない。等	
弓道	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
ウェイトリフティング	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
	接触の回避	補助が必要な練習を避ける。等	
文化部	2m程度の距離の確保	1カ所で同時に練習する人数を制限する。等	
	密接の回避	狭い空間や密閉状態での歌唱、楽器演奏、演劇練習等を避ける。	